

研究協力をお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

リハビリテーション医学教室

記

研究課題名：	当院で施行しているリンパ節郭清術におけるリンパ浮腫予防の妥当性の検討
研究の目的：	退院後のセルフリンパドレナージ（＊）の継続率を調査することにより、予防指導の妥当性を検討します。 ＊ご自身で実施するリンパ液の流れを促進する手法
研究の意義：	本研究は、乳がん・婦人科がん（子宮体がん・子宮頸がん・卵巣がん）でリンパ節郭清術伴う手術を受けた患者さんを対象として、術後のリンパ浮腫発生を予防目的でのセルフリンパドレナージ退院後の継続状況を検討することにより現在のセルフリンパドレナージの方法の妥当性を調べます。
研究の対象：	乳がん・婦人科がん（子宮体がん・子宮頸がん・卵巣がん）でリンパ節郭清術伴う手術を受けリンパ浮腫予防指導を受けた患者さん
該 当 期 間：	2020 年 9 月 1 日 ～ 2022 年 8 月 31 日
研究の方法：	リンパ浮腫予防指導時に無記名・記入式のアンケートを依頼させていただきます。ご承諾いただける場合は、退院 2 か月後にアンケート用紙（封書）を送付させていただきますので、回答のうえ投函してください。
研究 期 間：	2020 年 11 月 6 日 ～ 2024 年 6 月 30 日

個人情報の利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

対象者の方を特定できないように対処したうえで、本研究の成果を学会や論文等で開示します。対象者の個人情報については、リハビリテーション医学教室の鍵の掛かるキャビネットに原本を保管し、匿名化した上で取り扱います。対象者の方（その代理人）より、本研究で保有する個人情報の開示を求められた場合には、対象者の方（その代理人）の同意する方法により情報を開示いたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

リハビリテーション医学教室 富岡 正雄 内線：2281

利益相反について

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

本マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：

研究責任者： リハビリテーション医学 准教授 富岡 正雄

研究分担者： リハビリテーション医学 非常勤医師 坂口 知香子

本研究にて取得しました情報は、厳重な管理を行い、本研究以外の目的では利用いたしません。

対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 リハビリテーション医学教室

（大阪医科薬科大学病院 リハビリテーション科）

担当者： 富岡 正雄

T E L： 072-683-1221（代表）

内 線： 2281

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

研究責任者 富岡 正雄 殿

課題名	当院で施行しているリンパ節郭清術におけるリンパ浮腫予防の妥当性の検討
-----	------------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）